

第313回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和7年11月17日（月） 11:00～12:00

2 開催場所 エフエム栃木本社 会議室

3 委員の出席
委員総数 6人
出席委員数 5人

（1）出席委員の氏名
小笠原 伸 （委員長）
君島 理恵 （副委員長）
青木 敬信
新井 啓泰
宗像 信如

（2）放送事業者側出席者
仲山 信之（代表取締役社長）
岡本 明子（放送部長）
渡辺 裕介（放送部長代理）

4 議題
（1）番組の試聴及び意見交換
（2）次回開催日程について
（3）その他

5 議事の概要

（1）番組の試聴及び意見交換

エフエム栃木と宇都宮大学国際学部高橋若菜研究室、エコロジーオンラインの3者によるカーボンニュートラルをテーマとした55分番組で、10月から月に一回の放送で令和8年3月まで、全6回の放送です。

事務局：カーボンニュートラルとは、二酸化炭素（CO2）などの温室効果ガスの「排出量」から「吸収量」を差し引いて、実質ゼロにすること。地球に生きる我々の課題であり、難しそうなイメージもありますが、環境政治学を専門とする高橋若菜教授らによる分かりやすい解説を通して、理解を深めていくラジオ番組です。

コーナーは放送順に『おしえて！若菜先生』、『企業、団体によるカーボンニュートラル ACTION』、『学生たちによるカーボンニュートラル LABO』、『世界の気候変動ニュース』。今回は初回の放送をお聴きいただきます。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：難解なテーマを扱う初回の放送だったが、パーソナリティの永井さんや高橋教授の進行は丁寧で聴きやすかった。

委員：那須環境技術センターの事例紹介は具体的で聴きごたえがあり、中小企業に届く内容だった。その一方で、全体的には掘り下げ方が浅い部分やテーマが広がり過ぎた部分を指摘する声があった。

委員：全6回で放送されるとのことで、今後の継続性への期待もある。進行の永井氏は普段タ方の番組で賑やかなキャラクターで登場しているが、新たな一面が見られ、好感を持てた。

委員：専門性の高さが、一般リスナーを置き去りにする懸念があり、専門家に監修してもらった原稿を局のアナウンサーが紹介していく形式もいいと思う。

委員：参加型の展開を取り入れるなど、一般リスナーが聞き続けられ、「自分ごととして考えること」につながる工夫があると良い。

(以上)

(2) 次回開催日程について

8月 は休会とし、次回の開催を 令和7年12月8日(月) とすることについて、全出席委員の了解を得た。

(3) その他

特になし

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

番組スタッフと共有し、さらに番組の質の向上に努めることとしました。
(令和7年11月28日)

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 11月30日(日) 19時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし